

平成 22 年 11 月発行

日本歯科東洋医学会 関東甲信越支部通信

支部長 松本英彦



今年の 4 月から萬屋先生の後を引き継いで支部長をさせていただくことになりました。

諸先輩方の築かれた伝統を守りながら、新しいことを大いに取り入れて魅力ある支部にしていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

さて、私は支部長として会員の皆様に満足していただけるよう様々な試みを行ってまいりたいと思っておりますが、その方向性、具体的な試みについて少し述べさせていただきます。

まず、大きなコンセプトは

「こんな時代だから診療の理念のコアに東洋医学を取り入れて新しい歯科医療を確立しよう」

サブタイトルは

—— **東洋医学の真髄である感性を磨こう 「目で見える医学から感性で見る医学へ」** ——

です。現実には余裕など無い厳しい情勢の中で経営的にプラスになるものには飛びつく傾向があります。

そして我々歯科の治療体系は外科系ですからインプラント等の治療を取り入れることは容易だし、経営も安定するので気合も入ります。ところが東洋医学などの内科系の考え方はなかなか受け入れるのは難しいのが実情です。しかし、目先の利益、成功に走ることなく、医療の本質を見極める必要のある今こそ、この内科へのシフトが重要であるのではないのでしょうか？

インプラント、人間ドック、口腔内科等種々の選択肢があるなかで何故東洋医学なのか？東洋医学を我々が学ぶ理由はなんなのか？

ここでもう一度問うてみたいと思います。

口腔疾患はすべてからだの不調（西洋医学的には免疫力、内分泌系の不調、代謝疾患、心の問題等）がベースにあって起こると考えられます。それを解決できるのが東洋医学なのです。今後口腔とからだの関係はどんどん明らかになっていくでしょう。

東洋医学に漠然と興味をもっている人たちは多くいると思います。しかし、ただ東洋医学的手法を取り入れるだけでは従来の西洋医学的手法の間口が広がっただけになってしまいます。本当に東洋医学的診療を確立するためには東洋医学的な感覚を身に着けなければなりません。東洋医学のベースは「感性」であるということを徹底し、これを会得すべく努力すべきであると思っております。

具体的には次のようなことをおこなっていきます。

①鍼灸グループ 中村泰規

鍼灸には確固たるエビデンスがないのが現状です。全日本鍼灸学会等を見ると、医師や鍼灸師はエビデンスを得るべく研究を行っています。

本学会でもデータの蓄積が出来ればと考えています。そこで鍼灸グループでは皆様の意見をうかがいながらその方法を検討し、一緒にデータの収集を行いまとめ上げることを目標にしたいと思います。そして最終的にはその過程を本学会で発表していきます。

興味のある方は奮ってご参加ください。

またその集まりの中で、鍼灸をどのように臨床に取り入れるか？鍼灸にはどのような効果があるのか？等ディスカッション形式で意見交換し、初心者の方でも参加しやすいようにしていきたいと思います。



②漢方グループ 棕梨兼彰

歯科診療に東洋医学を導入する際にまず考えるのが「漢方」ではないでしょうか？

しかし一言で「漢方」を導入しようと考えても何から始めていけば良いのか分からず、いきなり挫折してあきらめてしまうケースが多いのではないかと思います。最近の色々な症例発表で「漢方」は良いと分かっている中々手を出せないのが現状です。今回、この漢方グループでは初めて「漢方」を導入しようとする会員から、学会発表をしたいが自信がない、認定医を取りたいがどうすれば良いのかという会員まで、とにかく「漢方」に関して疑問があれば納得するまで話し合う場所にしたいと考えています。遠慮無く疑問や症例等を持って参加してください。症例も疑問も無いけれど面白そうなので参加してみようという会員も大歓迎です。とにかく一度参加してみてください。

第1回目は「完全差別化！歯科に漢方を導入しよう！！」です。



③食養グループ 成田 優

第1回 食の概論

- ①人間の出生～離乳期～捕食
- ②東洋の伝統的食養（日本、中国、韓国、インド、東洋諸国）
- ③日本の食養 貝原益軒、石塚左玄、桜沢如一、幕内秀夫

第2回 中国の食養（中医学）の基礎Ⅰ

- ①食材の四気分類と五味の効能
- ②四気・五味と五行理論

第3回 中国の食養（中医学）の基礎Ⅱ

- ①食材の効能・効果
- ②薬膳に使用される生薬

第4回 中国の食養（中医学）の応用

- ①中医学的体質の分類
- ②弁証・弁体質的薬治と食養
- ③症状別料理メニュー

第5回 中国薬膳料理を試食

銀座、中国薬膳料理（星福 **シンフウ**）

東洋医学を学ぶにあたり、「食養」はとても重要な学問だと思いますが、実際どのように学ぶか難しいところだと思います。上記した5回シリーズで「食養」を学んでいこうと思うのですが、私も含めて参加者同志で少しでも自分自身で調べて一緒にディスカッションして学んでいくスタイルを考えております。食や料理などに興味がある方は特に奮って参加してください。



④気功グループ 松本英彦

気・血・水の〈量〉（陰）と〈流れ（機能）〉（陽）、両面がうまく働いている状態を健康と呼ぶ。気功は「気」のみの量と流れを調整するのと言えれば決してそうではない。直接的には「気」に働きかけるが、その結果として「血」「水」の流れを調整することができる。「血」「水」の量を調整できないだけである。量の調整は漢方や食養が得意の分野だ。気功はそういう意味で臨床のベースとしての意味合いが大きい。忙しい日常の治療中に鍼や漢方を使う前にいかに気功を取り入れていくか、皆さんで意見を交換しながら気楽に進めていきたい。

なお、アドバイザーに筒井重行先生をお呼びしているので日頃わからないこと、どうやって導入したらよいかなどこれから気功を始めようとしている先生方も気楽に参加していただければと思っています。



⑤代替医療グループ 石田 治

日常の臨床のなかで歯科東洋医学的な、鍼灸や漢方を取り入れていくのはなかなか難しいのではないかと思います。私の臨床の中でも経絡的な考え方は役に立っていますが実際に鍼を打つ様な事は皆無に近い状態です。今回、セミナーの様に一方的に伝えるのではなく代替医療（整体、アロマ等）なんでも皆さんの臨床の中で取り入れていて患者さんに喜んで貰っている得意技を持ち寄ってお互いの情報提供の場を作りたいと思います。如何に日々の仕事を楽しくやれるかという事に重点を置き、各人が自分の楽しさを他の先生に伝え、それをまた患者さんに伝えていきたいと思っています。特に若い先生方に参加して頂き、歯科医の仕事に誇りと自信を持って楽しんで頂きたいと思っています。



⑥東洋医学を語る 岡村興一

グローバル・スタンダードと呼ばれる価値観と競争原理に捻じ曲げられた世界を修正するものは共生の原理と言ってよいと思います。「東洋的であること」これはすなわち平衡、共生思想そのものであるわけです。どちらかが取って代わるのではなく、西洋と東洋、局所と全体、そして精神と肉体の対比のなかで、歯科(口腔)医療に共生原理を導入する(Symbiotic Oral Health Care)。(歯科)東洋医学の「保存」「継承」「創造」が果たす役割は、ローカルな「独善的オレ流」を超えれば医療変革の地勢的あるいは歴史的ベクトルの大きな柱となるのではないのでしょうか。**日本**とは、**歯科**とは、**東洋**とは、**医学**とは、**学会**とは・・・各グループの若き志士達と語りたい。

“すべて、初めは危険だ。しかし、とにかく始めなければ始まらない。”
(フリードリヒ・ニーチェ)



《2》 広報の充実

会員の皆様にできるだけ多くの情報を発信すると同時に皆様からのご意見も迅速に反映できるようなシステムを作っていきたいと考えています。

- 1) 情報発信と相互連絡のシステムを作る
- 2) メールでの連絡網の整備
- 3) 本会のHPを利用し、頻繁に情報を発信する

皆様への連絡は今後メールを中心にしたいと考えております。同時に本会ホームページ上に関東支部情報をアップいたしますのでチェックしてみてください。そして、できるだけメールアドレスの登録をお願いします。連絡は本支部専務の森純信までお願いします。

TEL&FAX : 04-2965-5211

Mail : morisumi@nifty.com

《3》 役員・会員

- 支部長 : 松本英彦
副支部長 : 森田邦夫、飯田良昭
専務 : 森 純信
常任理事 : 成田 優 (財務)
 関根陽平 (総務)
 富永正志
 棕梨兼彰
 石田 治
 中村泰規
地区代表 : 山下恭嗣 (栃木)
 清水英寿 (群馬・長野・山梨)
 市村 葉 (埼玉、千葉)
 月岡克郎 (新潟)
 梶 純也 (神奈川)
 片平治人 (東京)
 宮田宗広 (茨城)
監事 : 高橋眞一、沼 智博
相談役 : 古市 明、花上弘昭、西村政仁
顧問 : 片山伊九右衛門、岡村興一、萬屋 裕

以下は、参加希望申込みとしてお使いください。

各グループの開催予定日は以下のとおりです（3月分まで）。参加されたいグループの〔 〕に○を記入してください。お名前とメールアドレスをご記入の上、この用紙をそのままFAXで専務森までお送りいただければ幸いです。

TEL&FAX : 0 4 - 2 9 6 5 - 5 2 1 1

Mail : morisumi@nifty.com

《会場》 ヨシダ・・・(株)ヨシダ本社会議室（台東区上野7-6-9 TEL:03-3845-2911）
東上野・・・台東区東上野区民館（台東区東上野3-24-6 TEL:03-5807-1520）

漢方グループ・・・① 12月21日（火）18：30～ ヨシダ〔 〕
② 2月20日（日）13：00～ ヨシダ〔 〕

鍼灸グループ・・・① 11月26日（金）19：00～ ヨシダ〔 〕
② 1月21日（金）19：00～ 東上野〔 〕

気功グループ・・・① 12月15日（水）19：00～ ヨシダ〔 〕
② 2月16日（水）19：00～ ヨシダ〔 〕

食養グループ・・・① 1月22日（土）18：00～ 東上野〔 〕
② 3月26日（土）18：00～ 東上野〔 〕

代替医療グループ・・・① 11月24日（水）19：00～ ヨシダ〔 〕
② 1月19日（水）19：00～ ヨシダ〔 〕

東洋医学グループ・・・① 1月22日（土）食養終了後 東上野〔 〕
② 2月20日（日）漢方終了後 ヨシダ〔 〕

お名前： _____

メールアドレス： _____ @ _____

ご要望、ご質問などお書きください：